

【第 I 部 総論】

第1章 農畜林業全体的視点からの多面的機能分析

- 1.1 農畜林業における多面的機能論の背景と経緯
 - 1.1.1 畜産業の維持・振興・畜産物の自給
 - 1.1.2 「市場の失敗」と多面的機能
- 1.2 エコ・リージョンにおける循環・連鎖
 - 1.2.1 農業の自然循環機能と食物連鎖
 - 1.2.2 生物多様性
 - 1.2.3 「エコ・リージョン」(Eco-Region)とは
- 1.3 多面的機能の基本的考え方
 - 1.3.1 多面的機能とは
 - 1.3.2 多面的機能の役割: 多面的機能を発現させるために
 - 1.3.3 草地の多面的機能への視点

第2章 多面的機能の定義と農業生産活動の特質

- 2.1 多面的機能の定義
- 2.2 農産物と非農産物の一体的生産
- 2.3 多面的機能の経済学的性質と政策手法
 - 2.3.1 外部経済効果
 - 2.3.2 結合生産物
 - 2.3.3 公共財的性質
 - 2.3.4 地域固有財
- 2.4 草地における外部経済効果と消費者余剰との関係

第3章 多面的機能の発現メカニズム

- 3.1 持続的な食糧供給が国民に与える将来に対する安心
- 3.2 農業が物質循環を形成するメカニズム
 - 3.2.1 物質循環
 - 3.2.2 土壌・水質保全
 - 3.2.3 大気保全
- 3.3 ミレニアム生態系評価と草地の生態系サービス
 - 3.3.1 ミレニアム生態系評価とは
 - 3.3.2 生物多様性と4つの生態系サービス
- 3.4 農業が二次的自然を形成するメカニズム
 - 3.4.1 二次的自然としての農村生態系の特徴とその変容
 - 3.4.2 草地農業の持つ機能特性
 - 3.4.3 景観生態学からみた草地ランドスケープの特徴
 - 3.4.4 農村生態系の構成要素としての半自然草地の変容と現状
- 3.5 生産・生産空間の一本化と地域社会の形成・維持
 - 3.5.1 農業が地域社会・文化を形成・維持している
 - 3.5.2 農村の存在が都市的緊張を緩和する

第4章 多面的機能の経済的評価手法

- 4.1 経済的評価手法の分類
- 4.2 環境価値の分類
- 4.3 代替法
- 4.4 ヘドニック価格法
 - 4.4.1 不動産価格によるヘドニック価格法
 - 4.4.2 労賃をもちいたヘドニック価格法
 - 4.4.3 不動産価格と労賃を用いた一般的モデルによるヘドニック・アプローチ

- 4.5 旅行費用法
- 4.6 仮想評価法
- 4.7 コンジョイント分析法
- 第5章 EUにおける農業の多面的機能に係る行政施策の概要
 - 5.1 生態系サービスとその総合評価
 - 5.2 多面的機能の定義と国際関係
 - 5.2.1 OECDの定義
 - 5.2.2 EUの多面的機能の定義
 - 5.3 多面的機能とクロス・コンプライアンス
 - 5.4 多面的機能の政策評価
 - 5.5 EUにおける多面的機能農業政策構築に向けた新たなパラダイム
 - 5.6 EUにおける自然的価値の高い草地に対する再評価

【第Ⅱ部 各論】

- 第1章 草地の歴史的展開と多面的機能
 - 1.1 日本の国土・社会形成と草地
 - 1.1.1 明治以前の牧野の歴史
 - 1.1.2 明治から1960年代までの土地利用と牧野の歴史
 - 1.1.3 1960年代以降の畜産の発達と牧野・草地の歴史的展開
 - 1.1.4 21世紀の畜産の課題(環境の時代)
 - 1.2 日本の畜産と環境
 - 1.2.1 加工型畜産の様相(国土の富栄養化)
 - 1.2.2 加工型畜産の様相(家畜の疾病)
- 第2章 草地生態系の特徴
 - 2.1 草地生態系とは
 - 2.1.1 物理的・生物的環境からみた草地生態系の特徴
 - 2.1.2 我が国の草地のタイプ
 - 2.1.3 成立・維持要因
- 第3章 草地の土・水・大気の保全にかかわる多面的機能
 - 3.1 地球温暖化抑制機能
 - 3.1.1 炭素固定機能
 - 3.1.2 メタン吸収機能
 - 3.1.3 亜酸化窒素放出の緩和
 - 3.2 土壌保全/土砂災害防止/水源涵養機能
 - 3.2.1 土壌侵食防止
 - 3.2.2 表層崩壊防止
 - 3.2.3 風食・飛砂防止
 - 3.2.4 土砂流出防止
 - 3.2.5 地下水涵養
 - 3.2.6 洪水流出防止
 - 3.3 環境に対する負荷を除去・緩和する機能
 - 3.3.1 水質浄化機能
 - 3.3.2 有機性廃棄物分解機能
 - 3.3.3 資源の過剰な集積・収奪防止機能
 - 3.3.4 窒素循環機能
- 第4章 草地の生物多様性保全に係る機能
 - 4.1 植物相

- 4.1.1 草地における植物相の特徴
- 4.1.2 草地タイプ別の植物相の特徴
- 4.1.3 草地において多様な植物相が維持されてきたメカニズム
- 4.1.4 草地性植物の衰退の経緯と現状
- 4.1.5 林間放牧による多様な植物相の維持
- 4.2 昆虫
 - 4.2.1 多様な昆虫類の生息地としての草地
 - 4.2.2 草地の特筆すべき昆虫
 - 4.2.3 草地の昆虫多様性の保全機能の評価
 - 4.2.4 多様性の有益な機能
 - 4.2.5 多様性を維持・向上させる草地の利用・管理
- 4.3 鳥類
 - 4.3.1 日本の草地性鳥類の特徴
 - 4.3.2 草地性鳥類の保全状況
 - 4.3.3 草地の鳥類相
 - 4.3.4 採草地や放牧地の特徴的な鳥たち
 - 4.3.5 鳥類の多様性保全を配慮した草地の利用・管理
- 4.4 野生哺乳類の保全と獣害管理
 - 4.4.1 草地の野生哺乳類
 - 4.4.2 草地における野生哺乳類の保全実態
 - 4.4.3 草地における獣害管理と多面的機能の向上
- 第5章 草地の空間保全に係る草地景観
 - 5.1 草地景観
 - 5.1.1 畜産と一体的生産関係にある草地景観
 - 5.1.2 自然的価値の高い草地景観
 - 5.2 多面的機能の高い草地の配置計画
 - 5.2.1 環境保全に配慮した景観計画
 - 5.2.2 拠点となる領域の選定
 - 5.2.3 景観の改善
 - 5.2.4 防災機能の維持・向上
- 第6章 草地畜産の社会形成・維持に係る機能
 - 6.1 アニマルウェルフェア
 - 6.1.1 アニマルウェルフェアの倫理
 - 6.1.2 アニマルウェルフェアの科学
 - 6.1.3 アニマルウェルフェア阻害は負の外部効果
 - 6.1.4 粗飼料多給畜産のアニマルウェルフェア効果
 - 6.2 地域社会・文化の形成・維持機能
 - 6.2.1 地域社会の振興機能
 - 6.2.2 社会資本の蓄積
 - 6.2.3 地域社会のアイデンティティと都市・農村交流
 - 6.3 都市的緊張の緩和
 - 6.3.1 人間性を回復する機能:ふれあい機能
 - 6.3.2 人間性を教育する機能:体験交流

用語解説集

検討委員会委員名簿及び執筆者名簿